

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表（令和2年度）

|      |                              |     |       |           |  |
|------|------------------------------|-----|-------|-----------|--|
| 法人名  | 特定非営利活動法人 しみんふくしの家八日市        | 代表者 | 雲川 弘子 | 法人・事業所の特徴 | 住み慣れた家・地域でその人らしい暮らしが続けられるように、通い・宿泊・訪問サービスを24時間365日を通じて提供し、自宅・施設・地域での居場所づくり、環境づくりを支援します。施設においては、家庭的な雰囲気の中で、ゆったりとくつろいでいただき、スタッフはご利用者の思いを受け止め、その方に合った支援を行います。特に体調が認知症の進行に大きく作用するので、水分補給・食事摂取・排泄等、体調管理に力を入れています。一日の生活が、ゆったりと居心地の良い空間で過ごせるように 座席など環境に配慮しています。 |
| 事業所名 | しみんふくしの家 八日市 小規模多機能型 居宅介護事業所 | 管理者 | 井上 真寿 |           |  |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計  |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|-----|
|     | 2人    | 人        | 6人        | 人   | 1人    | 人          | 人     | 4人    | 人   | 13人 |

| 項目                     | 前回の改善計画   | 前回の改善計画に対する取組み・結果  | 意見   | 今回の改善計画  |
|------------------------|---|--|--|--|
| A. 事業所自己評価の確認          | ・運営推進会議を行うことに、自己評価の説明を少しずつ行っていく。                | 運営推進会議の中で自己評価に対する理解をしてもらえるよう、具体的な内容の説明は不十分であったが、運営推進委員の方からは色々意見をいただいた。 | 今回は自己評価が例年よりも高く、職員の意識に良い変化があったように思った。今の職員の配置をみていると補充が必要と考えられる。 | 年度初めに自己評価についての説明を必ず行い、2ヶ月に1回の会議の場で具体的に話し合い確認させてもらう。        |
| B. 事業所のしつらえ・環境         | 地域のボランティアさんに来ていただく。その都度、地域の皆さんにもお知らせし参加を促す。     | 地域の方にボランティアで来所していただくことが出来た。ボランティアの方の来所時は地域にもお知らせし参加していただいた。            | 地域の方々に事業所のことをしていただき足を運んでいただけるように知名度を上げて地域に溶け込む事業所に取り組む。        | 地域の方々にも来所していただける機会、ボランティアの方の来所時のお誘いや行事を皆さんにお知らせする。         |
| C. 事業所と地域のかかわり         | 定期的に、広報を発行して行事の取り組みをお知らせする。                     | 広報を発行する事は出来なかったが、運営推進委員の方々には行事の様子の写真などを報告させていただいた。                     | 自治会回覧やサロンでのチラシの配布を行い、地域行事や会合等の場に参加し、PRをする(事業所の名前を知ってもらう)。      | わかりやすいパンフレットの作成をし、地域の方が困りごとなどを相談に来ていただける場にしていく。            |
| D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み | 事業所を利用することで、より多くの利用者様がなじみの人、なじみの場所へ繋がるよう支援していく。 | 地域サロンへの参加など地域の方とのつながりは継続できている。他の団体との交流は出来なかった(老人会等)。                   | 地域行事の文化祭への参加だけではなく、もっと違う形での参加を考えていくことも必要なのは。                   | 事業所から地域行事への参加の支援を積極的に勧める。                                  |
| E. 運営推進会議を活かした取組み      | 地域での問題を、気楽に相談・情報交換が出来るようにする。                    | ゴミ出しについて心配な方への援助が、運営推進会議での議題に上がり、近所の方へ声掛けをすることで協力していただき解決できた。          | 具体的に取り組んでいるサービス内容等を報告・相談してもらえれば色々アドバイスができる。                    | 地域の問題を気楽に相談・情報交換が出来るようにする。取り組んでいるサービス内容も一緒に考えて行けるような会議にする。 |
| F. 事業所の防災・災害対策         | 地域の方も一緒に防災訓練に参加していただく。                          | 事業所での訓練は、昼・夜間想定で実施することは出来ている(夜間想定については近隣住民に声掛けさせていただいた)。               | 運営推進委員にも事業所の防災計画・防災訓練日を連絡してほしい。                                | 防災訓練の連携を地域消防団との取り、近隣住民を含めた合同訓練を行う。                         |